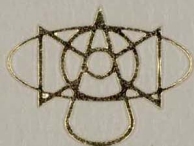


KENKYUSHA'S  
**LIGHTHOUSE**  
JAPANESE-ENGLISH  
DICTIONARY



KENKYUSHA'S  
**LIGHTHOUSE**  
JAPANESE-ENGLISH  
DICTIONARY

**ライトハウス和英辞典**

編者  
小島義郎  
竹林 滋



KENKYUSHA

KENKYUSHA'S  
**LIGHTHOUSE**  
JAPANESE-ENGLISH  
DICTIONARY

初版 第1刷 1984年  
第42刷 1989年



---

---

## ライトハウス和英辞典

編者 こじまよしろう たけはやし しげる  
小島義郎・竹林 滋

発行者 長井四郎

発行所 株式会社 研究社

〒101 東京都千代田区神田駿河台2の9

電話 編集(03)291-6845

販売(03)291-2301

振替東京9-32260

組版 研究社印刷株式会社

写真製版 株式会社 近藤写真製版所

印刷 研究社印刷株式会社

製本 大栄製本有限会社

---

---

ISBN4-7674-2210-8

## 編者

早稲田大学教授 小島義郎  
東京外国語大学教授 竹林滋

## 編集委員

東京外国語大学助教授 朝尾幸次郎 慶応義塾大学教授 岩崎春雄  
津田塾大学教授 上田明子 白百合女子大学教授 緒方勲  
慶応義塾大学教授 小川繁司 岩崎研究会会員 永井一彦  
電気通信大学教授 中尾啓介 明海大学教授 仁木久恵  
東京外国語大学客員教授 Thomas Emil Beck 桜美林大学助教授 Reginald Smith  
東京外国語大学客員教授 Stephen Nigel Williams

## 日本語校閲

東京外国語大学教授 若林俊輔

## 執筆者

早稲田実業学校教諭 青柳文男 東京外国語大学助教授 朝尾幸次郎  
慶応義塾大学教授 岩崎春雄 津田塾大学教授 上田明子  
早稲田大学教授 上田稔 白百合女子大学教授 緒方勲  
慶応義塾大学教授 小川繁司 上智大学講師 川中なほ子  
早稲田実業学校教諭 岸 暁 山梨大学教授 久保田泰夫  
早稲田大学教授 小島義郎 東京経済大学講師 宗宮喜代子  
茨城キリスト教大学講師 高橋教雄 東京外国語大学教授 竹林滋  
岩崎研究会会員 永井一彦 電気通信大学教授 中尾啓介  
明海大学教授 仁木久恵 早稲田大学教授 橋本宏  
早稲田実業学校教諭 半田直次 早稲田大学教授 星新蔵  
東京理科大学助教授 増田秀夫 早稲田大学教授 松坂ヒロシ  
津田塾大学講師 村井洋子 成城大学教授 安田一郎  
東京外国語大学教授 若林俊輔

(アイウエオ順)

## ま え が き

本辞典は『ユニオン英和辞典』の初版出版の翌年、すなわち1973年(昭和48年)にその姉妹辞典として編集を開始し、11年を費して完成した。本辞典と『英和』の第三版の出版を機に英和・和英の両辞典とも『ライトハウス』という名を冠することにしたが、この両辞典は編者が同じであり、したがって、その編集上の理念を一にしている。ただし、本辞典の編集開始後はある程度の方業を決め、竹林が主として『英和』の改訂を、小島が主として『和英』の編集を担当することにした。

本辞典は従来の和英辞典のあり方を根本から見なおして改善することをめざした。その第一は、和英辞典でひいた英語をもう一度英和辞典でひき直さなくてもよいような和英辞典を作ることであった。そのためには訳語の意味・用例・文法・語法・日英比較・背景等すべての面において従来のものとはまったく次元の違う編集をしなくてはならない。そこで、まず小島がかねてから和英辞典の改善案として考えていたことを最大限に織りこんだ規約と見本原稿を作った。それをもとに編者を含めた25名による執筆が行なわれ、原稿枚数は6万枚に達したが、それを小島が順次整理・統一して初校とした。次いで、初校と再校の段階では小島・竹林とともに編集委員の方々に校閲していただいた。とくに3名のネイティブ・スピーカーの編集委員の方々には英語表現を一つ残らず徹底的に検討していただいた。したがって、誤植などは別として、本辞典の英語表現に関する限り、すべてがネイティブ・スピーカーに容認されたものであると言ってよい。

本辞典は以上のような目的と経過により作られたのであるが、その特徴が非常に多くてこの「まえがき」の限られたスペースではすべてを述べることはできないので、詳しくは巻頭の「この辞書の使い方」を見ていただきたい。以下には我々が最も重要と考える特徴だけをあげることにする。

- (1) 見出し語はかな見出しとし、現代的な日常語を中心に選び、カタカナ語も多く収録した。
- (2) 訳語が2つ以上並列されるときは必ず意味の区別か、または文体上の区別を記述した。(ただし、コマで区切られた入れかえ可能な訳語の場合は別)。
- (3) 文体上の区別は「前者のほうがより口語的」などのように、比較相対的な記述をすることを基本とした。
- (4) 文法・語法・日英比較・選択制限などに関する注意をできるだけ多く入れた。
- (5) 類義語の意味の区別と反意語を随所に入れた。
- (6) 訳語は見出し語の日本語の品詞にこだわらず、日英の対応関係の密接な順に配列した。(たとえばびょうきの項には ㊦ sick が ㊧ sickness よりも先にある)。
- (7) 動詞には ㊦ ㊧ の区別、名詞には ㊦ ㊧ をつけた。
- (8) 発音やアクセントの間違えやすいものにはそれを示した。
- (9) 日本特有の見出しについては説明的な訳を入れた。

- (10) 助詞および助動詞などの日本語について、日英比較を基にした解説を施した。
- (11) カタカナ語見出しの訳語には、原語との意味のずれに注意した。
- (12) 用例は現代口語を主とし、特別な場合を除きフルセンテンスで示した。
- (13) 問いの文にはその答え方も示すように、対話形式の用例を多くした。
- (14) 用例には(⇒)を使って発想指示を随所に入れた。
- (15) 発想指示より文型を示した方が有効と考えた場合は文型を表示した。
- (16) 用例には可能な限り複数の訳例を示すように努めた。
- (17) 複合語見出しはすべて第一要素でひけるようにした。
- (18) 日本語の慣用句を準見出しとした。
- (19) 文法・作文関係および会話・文化情報関係のテーマ別囲み項目を多数設けた。会話の部分については別売のテープとテキストを作った。
- (20) 作文に必要な文法事項・句読法などを中心に欄外項目を多数設けた。
- (21) 相互参照を徹底的に行なった。
- (22) 日本語表現についても校閲を行なった。
- (23) 挿絵・写真・表などを随所に入れた。

以上のとおりであるが、本辞典は単に学校用の学習辞典としてだけでなく、広く一般社会人にも役立つよう心がけたつもりである。それは政治・経済・文化・旅行会話など種々の情報が他の和英辞典に類例のないほど詳しいことを見ていただければわかると思う。

本辞典の編集に当たっては別掲の編集委員、校閲者、執筆者、調査・校正協力者の方々のご尽力を頂いた。深く感謝申し上げます。また研究社にあっては、この辞典の発端をひらいて下さった長井四郎専務、担当者として並々ならぬご苦勞をいただいた辞書編集部の方々、即ち1978年まで担当された小沼利英氏、それ以後校了まで担当された篠田達美氏、早川真一氏、および助力をいただいた寺澤羔子さんに深く感謝申し上げます。さらに、貴重な写真資料を多数ご提供いただいた早稲田大学教授篠田義明氏と、校正の最初から最後までとくに綿密に検討していただき、貴重なご指摘を数多く頂いた早稲田大学講師高野嘉明氏に感謝申し上げます。また製版にあっては和田文五郎氏をはじめとする多くの方々、および製作関係の方々に変えご無理を願ったことにもお礼を申し上げたい。

本辞典の編集には最善を尽したつもりであるが、不備な点もあることと思う。各位のご叱正、ご教示を賜らば幸いである。

1984年7月  
編者

# この辞書の使い方

## 1 見出し語

1.1 かな見出しを採用し、五十音順に配列した。

1.2 清音、濁音、半濁音の順に配列した。

こうとう 口頭, こうどう 行動, こうとう 強盗, こうどう 合同  
はは 母, はば 幅, ばば 馬場, パパ

1.3 促音の「っ」、拗音の「ゃ」「ゅ」「ょ」は、それぞれ「つ」「や」「ゆ」「よ」の後に置いた。

ねつき 寝付き, ねっき 熱気  
きやく 規約, きゃく 客

1.4 カタカナ見出し中の長音符(ー)は、その直前の文字を長く伸ばした音を「ア」行の音に置き換えた位置に配列した。

パーマ→パアマ, ビール→ビイル, クーラー→クウラア,  
ボール→ボオル

1.5 同音語は引きやすさを考慮して、使用頻度が高いと思われる順に配列し、肩番号を付けた。ただし、カタカナ表記の外来語はひらがな見出しの後に置いた。

けっこう<sup>1</sup> 結構, けっこう<sup>2</sup> 決行, けっこう<sup>3</sup> 血行, けっこう<sup>4</sup> 欠航  
かんば<sup>1</sup> 寒波, かんば<sup>2</sup> 看破, カンパ

また、「子牛」と「講師」または「行使」のように、ひらがな表記は同一でも音声的な内部構造が明らかに異なる場合は、「子牛」は「こうし」と、はっきり発音する文字の間に間隔をもうけ、「講師」「行使」はその後に、それぞれ「こうし<sup>1</sup>」「こうし<sup>2</sup>」として、区別して配列した。

こうし<sup>1</sup> 子牛, こうし<sup>1</sup> 講師, こうし<sup>2</sup> 行使, こうし<sup>3</sup> 公私,  
こうし<sup>4</sup> 格子  
ひろう 拾う, ひろう<sup>1</sup> 疲労, ひろう<sup>2</sup> 披露

1.6 助詞、助動詞、接頭辞、接尾辞など、独立して使われることのない語は、ハイフン(-)を付けて見出しにした。

-で<sup>1</sup>, -で<sup>2</sup>, -と, -という, -ので, -のに, -したい, -ねばならない

## 2 訳語

2.1 訳語が複数にわたり、意味上の区別やニュアンスの違いがある場合はセミコロ(;)で区切り、訳語の前に丸ガッコでその違いを示した。意味領域、使用頻度、文体上から訳語の代表になり得るものがある場合には「★最も一般的な語」という注、あるいはそれに準じる注を施した。

**あたえる** 与える(あげる) give ㊤ 《過去 gave; 過分 given》 ★一般的で平易な日常語。以下の語の代わりに用いられることも多い; (贈り物として進呈する) present ㊤; (賞などを) award ㊤; (権利・金銭などを) grant ㊤ ★やや改まった語; (支給する) provide ㊤; (供給する) supply ㊤; (割り当てる) allot ㊤; (仕事などを) assign ㊤。

**みがって** 身勝手 一 ㊤ (自分の利益ばかり考える) selfish ★最も一般的な語で、以下の語の代わりに使える; (自分勝手の) egoistic; (自己中心的な) self-centered。

ほぼ同じ意味で交換して用いられる場合はコンマ(,)で区切って列記したが、文体上の差が認められる場合は★を用いてできる限り記述した。その際、列記

したものが同じく口語的と思われる場合でも「★後者のほうがより口語的」のように比較相対的な説明を加えた。

2.2 訳語の文体上の差異については全般にわたって特に注意を払い、★を用いてできる限り詳しく記述した。単に「口語」「文語」などの絶対値を与えるのではなく、前項に述べたように、列記された訳語の中での相対関係として「後者のほうが形式ばった語」とか、「以上の中では最初の語が最も口語的」などのような説明が施されている。従って「前者のほうが口語的」とあっても、「前者」が絶対値として必ずしも《口語》というレベルに属するとは限らない点に注意されたい。

えんき 延期 一動(遅らせる) put off ㊤, postpone ㊤ ★前者のほうが口語的。

すまず<sup>1</sup> 済ます 1 《終える》: finish ㊤, get through... ★後者がより口語的。

すいりょう<sup>1</sup> 推量 一動(当てずっぽうをする) guess ㊤㊦ ★最も口語的; (不確かな根拠に基づいて推測する) surmise ㊤, conjecture ㊤ ★いずれも形式ばった語。

また、区別をきめ細かにするために「やや」という表現を用いて、「やや形式ばった語」とか「やや文語的」のような中間段階をもうけた。「形式ばった」「改まった」「堅苦しい」はほぼ同じ意味で用いてあり、統一はしなかったが、「文語的」は主として書き言葉で用いられる文学的表現という意味で区別してある。

ひつう 悲痛 一動(悲しい) sad, sorrowful ★後者はやや形式ばった語  
えいご 英語 English ㊤, the English language ★後者はやや改まった言い方。

しんえん 深遠 一動(深い) deep; (考え・学問などが) profound ★前者が一般的。後者は文語的。

2.3 見出し語の品詞にこだわらぬ訳語をあげた。そのため 一動 一動 一動 一動 一動 一動 一動 一動 一動 一動 一動 など、英語の品詞を表示し、品詞ごとに訳語をまとめた。この場合、見出し語を英語に置き替える際に最も多く使われる品詞の項を最初に示した。なお、訳語が2種以上の品詞にわたる場合、あるいは訳語の品詞が1種類でも、見出し語の日本語の品詞と食い違いがある場合のみ品詞を掲げ、その他の場合や品詞を示すことにあまり意義がない場合は品詞を示していない。

しんせつ<sup>1</sup> 親切 一動(親切な・優しい) kind; (性格として) kindly; (人に対して道徳的に振舞う) good; (友好的な) friendly; (温かくもてなす) hospitable; (優しく思いやりがあって) tender, tenderhearted; (寛大な) generous. 一動(親切に) kindly; (優しく) tenderly, tenderheartedly; (好意的に) good-naturedly; good-heartedly; hospitably. 一動(親切な行為) kindness ㊤ ★1つ1つの行為をいうときは ㊤; kindness ㊤; (優しさ) tenderness ㊤; (好意) goodwill ㊤; friendliness ㊤; hospitality ㊤.

びょうき 病気 一動(病気の)《米》sick, 《英》ill (↔ well, healthy) ★名詞の前に置く場合は英米ともに sick; (健康がすぐれない) unwell ★述語的にのみ用いる; (長く患っている) ailing. 一動 sickness ㊤, illness ㊤; disease ㊤ ★以上は個々の病気を言うときは ㊤; (不健康) ill health ㊤; (持病) chronic disease ㊤.

しみん 市民(市民・国民としての権利を持つ) citizen ㊤.

2.4 訳語の配列の順序については、見出し語の訳として最も適当と思われるものを最初に掲げるようにした。従って見出し語の日本語によっては、より形式ばった英語が先に置かれ、口語的で一般的な英語が後に並べられている場合もしばしばある。

2.5 訳語はアメリカで一般的に使われているものをあげ、もっぱらイギリスで使われるものについては《英》の表示をした。詳しくは ㊤ アメリカ英語とイギリス英語(欄外)。



2.6 数えられる名詞には ㊦, 数えられない名詞には ㊧ を表示し, どちらともとれる ㊦㊧ は避けて, 見出し語との関連において ㊧ または ㊦ に割り切って表示し, さらに必要な場合には「★具体的なものを表す場合は ㊦」のような説明を加えた. 詳しくは ㊦ 可算・不可算名詞(欄外). ただし, 定冠詞を付けて訳語としたもの, 複数形で訳語となるものについては ㊧ ㊦ を示していない.

ぜんと 前途 (将来) future ㊧ ★具体的なものを表す場合は ㊦; (見込み) prospects ★この意味では複数形で; (見通し) outlook ㊦.

ていど 程度 (度数) degree ㊧ ★具体的な意味のときは ㊦; (範囲・限界) extent ㊧; (水準・高さ) level ㊦; (標準・基準) standard ㊧.

2.7 動詞には ㊨ (= 自動詞), ㊩ (= 他動詞) を表示し, ㊨ には見出し語との関連において結び付きの強い前置詞も併せて示した. また, もっぱら受身で用いられるものは受動態で訳語を示した.

かんじる 感じる feel ㊨ ㊩ (過去・過分 felt); (感づく) sense ㊩; (気づいている) be aware (of...); (知覚する) be conscious (of...); (感動する) be impressed (by...; with...); (心を動かされる) be moved (by...).

つく<sup>1</sup> 付く 1 «付着する»: (くつつく) stick (to...) ㊨; (こびりつく) adhere (to...) ㊨; (しみがつく) be stained (with...).

なお, 訳語が「動詞+前置詞(句)」のような場合には, ㊨ ㊩ を示さず, 動詞または前置詞の目的語を「...」で示した.

しはん 市販 一動 (市場に出す) put ... on the market; (売られている) be on sale.

しみこむ 染み込む (水などが) soak into...; (中へ深く入る) sink into...

2.8 必要に応じて, 不規則変化する動詞の過去形, 過去分詞形, 名詞の複数形を示した.

うつ<sup>1</sup> 打つ 1 «打撃を与える»: strike ㊨ ㊩ (過去・過分 struck); knock ㊨; hit ㊨ (過去・過分 hit); slap ㊨; pat ㊨; punch ㊨; box ㊨; beat ㊨ ㊩ (過去 beat; 過分 beaten, beat); (手を) clap ㊨.

さいころ die ㊦ (複 dice).

しらみ虱 louse ㊦ (複 lice).

2.9 丸ガッコによる意味の区別だけでは不十分な項目については適宜【類義語】欄をもうけ, 和英辞典という立場を意識した解説を施した.

けんせつ 建設 一動 build ㊨ (過去・過分 built); construct ㊨; erect ㊨. 一図 construction ㊦; erection ㊦. 一図 (建設的な) constructive.

【類義語】いろいろな部品を組み合わせる建造物を作り上げるのが *build* で, 最も一般的な語. 建てる作業よりも, あるプランに従って建造物を作り上げること強調し, 特に大きな建造物を建てることを意味する言葉が *construct*. 元は高い物を打ち立てるという意味で使われたが, 現在では単に建てるという意味でも広く使われるのが *erect* で, 作る過程より建設される事実重点がある.

2.10 訳語欄をもうけることが, かえって不自然な場合には, 見出し語の後に直接用例を続け, さらに, 理解を助ける語句を示すことが有効な場合には【参考語】として, 用例の後に列記した.

ぐらぐら ㊦「なべが\*ぐらぐら煮えている (⇒なべが沸騰している) The pot is boiling. // 歯が1本\*ぐらぐらしている (⇒私はゆるい歯を持っている) I've got a loose tooth. // ねじが\*ぐらぐらしてきた The bolt is coming loose. // この戸は\*ぐらぐらしている (⇒安定していない) This door is not secure. // けさの地震で家がかなり\*ぐらぐら揺れた My house shook hard in the earthquake this morning. // 頭が\*ぐらぐらする My head is swimming. / I am feeling dizzy. (㊦ 擬声・擬態語(囲み); ゆれる; ぐらつく)

【参考語】一動 (沸騰する) boil ㊨, bubble up ㊨; (煮え立つ) seethe ㊨; (揺さぶる・揺れる) shake ㊨ ㊩, rock ㊨ ㊩, tremble ㊨ ㊩; (態度などが) waver ㊨; (頭などが) swim ㊨; (目まいがする) feel dizzy. 一図 (本来動かないものがたがたになつて) loose, shaky; (不安定で前後左右に) rocky; (しっかり安定していない) unstable.

2.11 必要に応じて, (↔) により, 反意語を示した.

2.12 イタリアック体の *one, one's, oneself* はだいたいにおいて動作主を表し、文脈により *I, my, myself, you, your, yourself, he, his, himself, she, her, herself, we, our, ourselves, they, their, themselves* などに変化することを意味している。*a person, a person's* は動作主以外の人称代名詞または人名に置き換えられることを意味し、その他、限定できない場合は「...」で表示してある。また、イタリアック体の *do* は、文脈に応じて適当な動詞に置き換えられることを意味する。

### 3 用例

3.1 数少ない例外を除き、必ずセンテンスで示し、平明で口語的な表現を心がけた。

3.2 和文中の見出し語該当箇所に \*印を付け、対応する英文中の箇所をイタリアック体で示した。

3.3 (⇒) により、日本語からは発想しにくい英語構文の組み立て方をできる限り多く示した。日本語をまず日本語のまま英語的な発想の文に置き換え、その後でそれを英語に訳出する方法をとることが、和文英訳の学習法として有効であると考えたからである。しかし、慣れてきたら、発想指示を介せずに、英文が発話できるように練習していただきたい。詳しくは ☞ 発想 (欄外)。

-ぶり ...振り 1 《様子・仕方》『彼女の仕事\*ぶりを見習いまえ (⇒ あなたは彼女の仕事の仕方を見て彼女の例に習うべきだ) You should watch the way she works and follow her example. / (⇒ 彼女がいかに熱心に[能率よく]仕事をするかを) You should watch how <sup>1</sup>enthusiastically [efficiently] she works and follow her example. // 数か月もすると彼は社長\*ぶりが板につてきた (⇒ 社長であることが自然になってきた) After several months of being the company president it became natural to him. // あいつは飲み\*ぶりがいい (⇒ 彼の飲み方は驚くべきである) The way he drinks is amazing.

3.4 必要な場合は、構文発想上の助けとなる文型を示した。文型はまず一般に用いられている五文型を基礎とし、その S (= 主語)、V (= 動詞)、O (= 目的語)、C (= 補語) の各々の文の要素について、( ) を用いて作文上必要と思われる下位区分を示した。

その下位区分は (1) 動詞を中心として主語には「人」がくるのか「物」がくるのか、また目的語は「物」か「人」かなどの、言葉の結びつき方についての情報と、(2) 目的語や補語は「名詞」か「to 不定詞」か「-ing 形」か、「形容詞」か、それとも「that 節」「wh-節」かなどの文法的情報の 2 種類の情報を与えるのが目的である。次にそのいくつかの例をあげる。

たのむ 頼む 『その女性は私にどうかお金を下さいと\*頼んだ <S(人)+V(beg)+O(人)+for+名> She begged me for some money.

うえる<sup>1</sup> 植える 『庭にはらさ\*植えた I planted roses in my garden. / <S(人)+V(plant)+O(場所)+with+名(植物)> I planted my garden with roses.

おしえる 教える 『私たちの学校では日本史は青木先生が\*教えています <S(人)+V(teach)+O(人)+O(学科)> Mr. Aoki teaches us Japanese history at school. / <S(人)+V(teach)+O(学科)+to+名・代(人)> Mr. Aoki teaches Japanese history to us.

以上のように文型は日本文と英語の訳文との間に < > を用いて置かれている。これは日本文を見て、英訳する前に意味と文法の両面から、英語の文構造の基本となる形を明確にしておくためである。

本辞典を通じて、文型の記述はあまり多くない。それは、和文英訳ということをも目的とする場合、文型よりも、むしろ (⇒) による発想指示のほうがより有効な場合が多いと判断したからである。従って、上に掲げた「うえる」「おしえ

る」のように、ほぼ同意の文が語順の違いによって複数訳出することが可能な場合などに限って文型が記述してある。なお、文型の記述法は『ライトハウス英和辞典』に準じているので、詳しくはその巻末の解説を参照されたい。

3.5 必要に応じて、問いかけの文章には答えの文章を、答えの文章には問いかけの文章を与え、対話形式の用例を多く採り入れた。

けっこう<sup>1</sup> 結構 2 《拒絶》『「たばこはいかがですか」「結構です。私はたばこは吸いませんので」“How about a cigarette?” “No, thank you. I don't smoke.” // 「コーヒーをもう1杯いかがですか」「もう結構です。十分にいただきました」“How about another cup of coffee?” “No, thank you. I've had enough.”

3 《是認》『「これでよろしいでしょうか」「非常に結構です」“Is this all right?” “Yes, that's perfectly all right.” (☑ 許可の表現 (囲み)) // 「ペンは持っておりません」「鉛筆で結構です」“I don't have a pen.” “A pencil will do.”

3.6 ほぼ同じ意味で異なった言い回しや、スピーチレベルの異なる英文をできるだけ多く示し、文の区切りを斜線(/)で示した。なお、二重の斜線(//)は別の用例が続くことを示す。

3.7 ★ [語法] [参考] などにより、用法上の注意や、文化的な参考事項を数多く示した。

## 4 相互参照

4.1 本辞典では《☑》の記号を用いて相互参照をできる限り徹底するように努めた。相互参照は類義項目、関連項目はもとより、特に囲み・欄外項目への参照を徹底するように努めた。これを活用することにより、多角的・立体的な情報を得ることが可能となるので、ぜひ活用していただきたい。

## 5 複合語見出し、成句

5.1 見出し語に準じる複合語は、用例の後に、五十音順で列記した。

5.2 複合語の見出しはすべて第一要素びきとした。例えば天然ガスは「てんねん 天然」の項に入っている。しかし、ガスの項の用例にも入れてある。このように複合語を第二要素の項目で再度取り上げるときは一貫して用例として示したが、重複も辞さず、複合語をすべて第一要素びきとしたことによって、使用者は複合語をどの要素でひいてよいか迷う必要がなくなったと信ずる。(ただし、結合度の強い複合語は独立した主見出しとなっていることに注意)。

てんねん 天然 一 副 natural (↔ artificial) (☑ しぜん)。天然ガス natural gas ☑ 天然記念物 natural monument ☑ 天然資源 natural resources ★ 複数形で。

ガス 1 《燃料用ガス》: gas ☑ (☑ きたい\*)。『\*ガスを出して[止めて]下さい Turn 'on [off] the gas, please. // \*ガスの火を弱く[強く]しなさい Turn the gas 'down [high]. // ここには\*ガスが来ていますか Do we have gas service here? // 天然\*ガス natural gas

ガス会社 gas company ☑ ガス管 gas pipe ☑ ガスストーブ gas heater ☑ ガスタンク gas tank ☑ ガス洩れ gas leak ☑ ガス湯沸かし器 gas water-heater ☑ ガスレンジ gas 'stove [cooker; range] ☑ (☑ 台所・家事 (囲み))。

あかしんごう 赤信号 red (traffic) light ☑ (☑ しんごう)。

5.3 日本語の慣用句で、見出し語の訳語とは別種の訳語・訳文が当てはまるものは、日本語の成句として独立させ、用例の後、複合語見出しの前に、五十音順で配列した。

くび 首 1 《身体の部分》: (首の部分) neck ☑; (頭) head ☑

首が回らない 『彼は借金で\*首が回らない (⇒ 耳[首]まで借金につかっている)

He is in debt up to his ears [neck]. ★ ears がより一般的.  
 首を長くして待つ ♪ あなたにお目にかかるのを\*首を長くして(⇒ 楽しみにして) 待っています I'm looking forward to seeing you.  
 首をひねる ♪ 私は難問に\*首をひねった(⇒ 懸命に考えた) I thought hard 'over [at] the difficult question. / I puzzled my brain 'over [at] the difficult question.  
 首飾り necklace ☐ (☐ ネックレス) 首切り(解雇) dismissal ☐ 首筋 the 'nape [scruff] of the neck (☐ うなじ) 首根っ子 ♪ 彼は息子の\*首根っ子をつかまえた He 'grabbed [seized] his son around the neck. 首輪 (犬の) collar ☐

## 6 囲み項目, 欄外項目

6.1 「語句と文化情報のためのもの」「文章構成のためのもの」, あわせて 75 の囲み項目をもうけ, 多くは項目の最後に対話例を付け, 実際の会話表現に役立つようにした.

6.2 文法的な解説, 英作文上の注意, 英文を書くときに必要な技術的な知識などを, 85 の欄外項目に分けて示した.

## 7 挿絵, 写真

7.1 集約的に単語の知識が得られる総合挿絵, 日英の文化的な違いを示す挿絵, 米英の掲示の写真などを多く採り入れて理解の助けとした.

## 8 記号, 略号

8.1 この辞書で使われている記号には次のようなものがある.

- ( ) (1) 訳語の前で, 意味の説明を包む.  
 (2) 上記以外の箇所では, 省略可能な文字・語句を包む.  
 [ ] (1) 入れ替えて用いることが可能な語句を包む.  
 (2) 発音表記を包む.  
 「 [ ] の箇所と入れ替え可能な語句の始まりを示す.  
 (( )) 語形変化, 略語を包む.  
 « » 項目を大きく分類するときの種別を包む.  
 (⇒ ) 発想指示を包む.  
 (↔ ) 反意語を包む.  
 (☐ ) 参照すべき項目の見出し語を包む.  
 ♪ 用例の最初を示す.  
 / 用例中で, 異なった英語の言い回しを続けるときにセンテンスを区切る.  
 // 別の用例が続くときに, 用例全体を区切る.  
 \* 用例の日本語における見出し語該当箇所を示す.  
 ~ 見出し語と同じつづり, または発音を表す.  
 ★ 注意すべき説明.

8.2 この辞書で使われている略号には次のようなものがある.

名	名詞	形	形容詞	(米)	米国用法
固	固有名詞	副	副詞	(英)	英国用法
代	代名詞	接	接続詞	過去	過去形
動	動詞	前	前置詞	過分	過去分詞形
自	自動詞	感	感嘆詞	現分	現在分詞形
他	他動詞	接頭	接頭辞	動名	動名詞
助	助動詞	接尾	接尾辞	複	複数形

發音記号表

母音 (vowels)		子音 (consonants)	
記号	例	記号	例
[i:]	east [i:st]	[p]	pen [pén]
[i(:)]	happy [hápi(:)]	[b]	big [bíg]
[i]	ink [iŋk]	[t]	tea [tí:]
	bucket [bákkit]	[d]	day [déi]
[e]	end [énd]	[k]	key [kí:]
[æ]	hand [háend]	[g]	get [gét]
[æ   a:]	ask [æsk   á:sk]	[f]	face [féis]
[a:]	calm [ká:m]	[v]	very [véri(:)]
[ɑ   ɔ]	top [táp   tɔp]	[θ]	three [θrí:]
[ɔ:]	all [ɔ:l]	[ð]	this [ðís]
[ɔ   ɒ]	cloth [klɔ:θ   klɔθ]	[s]	sun [sán]
[u:]	food [fú:d]	[z]	zoo [zú:]
[u]	book [búk]	[ʃ]	ship [ʃíp]
	educate [édʒukèit]	[ʒ]	vision [víʒən]
[ʌ]	come [kám]	[ts]	cats [káts]
[ə:   ə:]	bird [bá:d   bó:d]	[dz]	reads [rí:dz]
[ə]	around [əráund]	[tr]	tree [trí:]
	China [tʃáinə]	[dr]	dry [drái]
	chorus [kó:rəs]	[tʃ]	cheap [tʃí:p]
	today [tədəi]	[dʒ]	joy [dʒói]
	element [éləmənt]	[h]	hat [hát]
	animal [áinəmə]	[m]	man [máen]
[ə   ə]	teacher [tí:tʃə   -tʃə]	[n]	night [náit]
[o]	omit [ómít]	[ŋ]	ink [iŋk]
[ei]	eight [éit]	[l]	leaf [lí:f]
[ai]	ice [áis]	[r]	red [réd]
[ɔi]	toy [tói]	[j]	yes [jés]
[au]	out [áut]	[w]	week [wí:k]
[ou]	go [góu]		
[ju:]	cute [kjú:t]		
[ju]	popular [pápjulə   pópjulə]		
[iə   iə]	ear [íə   íə]		
[eə   eə]	hair [héə   héeə]		
[aə   a:]	arm [áəm   á:m]		
[ɔə   ɔ:]	store [stɔə   stó:]		
[uə   uə]	poor [púə   púə]		
[juə   juə]	pure [pjúə   pjúə]		
[aɪə   aɪə]	fire [fáɪə   fáɪə]		
[aʊə   aʊə]	tower [táʊə   táʊə]		

アクセント記号	
[ˈ]	第一アクセント
[ˌ]	第二アクセント
	examination [igzæmənéɪʃən]

## 囲み項目索引

*あいさつ	2	新聞の英語	770
*相づち	5	推量の表現	781
味	18	*数字	783
家・部屋	59	スポーツ	806
意志・願望の表現	71	政治・経済	822
衣服	99	*選択の表現	864
*依頼の表現	107	台所・家事	919
色	111	*提案・勧告の表現	1056
受身	122	手紙の書き方	1067
映画	149	*天候の表現	1090
大きさの表し方	171	*電話の英語	1098
重さの表し方	210	動物の鳴き声	1119
音楽	218	時・期間の表し方	1128
*買い物	238	度量衡	1171
数の数え方	272	日記	1220
学校・教育	284	日本固有の風物と英語	1224
仮定の表現	289	*乗り物	1266
可能の表現	296	花	1309
*感謝の表現	323	比較の表現	1342
感情の表現	325	否定の表現	1360
感嘆の表現	330	*病気・病院	1377
擬声・擬態語	351	頻度を表す副詞	1393
義務の表現	366	*訪問の表現	1482
強意語	384	*ホテル	1496
強調の表現	392	店の呼び名	1551
許可の表現	397	*道のきき方	1555
金銭	413	命令の表現	1591
掲示の英語	460	目的・結果の表し方	1607
コンピューター	566	野球の英語	1627
使役	609	呼びかけ	1677
*時刻・日付・曜日	620	理由の表し方	1701
自然災害	631	量の表し方	1705
自動車	654	料理の用語	1710
*謝罪の表現	670	*旅行	1712
*紹介	707	*レクリエーション	1722
譲歩の表現	723	*レストラン	1724
食事	731	和製英語	1744
親族関係	764		

\*印の項目内の対話例は、テキスト付き別売カセットテープ『ライトハウス英会話』に、さらに内容を拡充して吹き込まれています。

## 欄外項目索引

アポストロフィー	37	接頭辞	847
アメリカ英語とイギリス英語	41	接尾辞	848
アンダーライン	52	セミコロン	851
イタリック体	79	前後関係	856
It の用法	90	総称用法	879
イディオム	94	代名詞	925
意味	103	多義語	934
引用符(号)	116	脱字記号	950
英作文	151	ダッシュ	950
エトセトラ	156	短縮形	973
婉曲語法	159	つづり字	1036
大文字	175	つづり字の切れ目	1040
可算・不可算名詞	267	訂正	1060
かっこ	283	丁寧な表現	1062
関係詞	318	同音異義	1103
冠詞	320	同格	1104
感嘆詞	328	倒置	1114
感嘆符(号)	329	動名詞	1120
完了形	334	日本語と英語	1225
擬人化	348	「はい」と「いいえ」	1271
疑問詞	368	ハイフン	1279
疑問符(号)	369	発想	1304
くだけた英語と堅苦しい英語	429	話し言葉と書き言葉	1311
句読点	437	パラグラフ	1320
形容詞の2用法	465	パラフレーズ	1322
語順	534	反意語	1329
誇張	538	控えめな表現	1341
語法	551	比喩	1374
コロケーション	559	標準英語	1383
コロン	559	ピリオド	1387
コンマ	565	付加疑問	1399
再帰代名詞	569	副詞の位置	1404
字さがり	624	複数形	1405
時制の一致	629	不定詞	1425
借用語	669	文	1446
自由作文	678	文型	1448
修辞疑問	678	分詞構文	1448
省略	726	文体	1450
所有格	742	翻訳	1509
進行形	756	略語	1698
性	814	類義語	1715
性・数・人称の一致	815	話法	1747
接続詞	845		

## あ

ああ Oh!, Ah! 【語法】前者のほうが一般的で用途も広く、日本語の「ああ」以外に「やあ」「あら」「まあ」((例) Oh, hi, George!), 「ほう(それでどうしたんですか)」「(例) Oh? 『上り調子』」などにも当たる。(ははあ、なるほど) Aha [a:há:]! ; (とこで・やっ) now ★話題や気分を変えたり、注意を促したりするときなどに用いる。(やれやれ) well ★安心・あきらめ・譲歩などの気持ちを表す。(『感嘆詞(欄外)』)

『\*ああ、きれいだ Oh, how beautiful! (『感嘆の表現(囲み)』) // \*ああ、わかった Aha! Now I understand. // \*ああ、(あの子は)かわいそうに Poor 'boy [girl]! // \*ああ、もし金があればなあ Ah! If I had money. (『仮定の表現(囲み)』) // \*ああ、思い出した Now I remember (it). // \*ああ、やっと着いた Well, here we are at last.

ああいう (あんな) such; (あのよう) like that. (『あんな; そういう』)

アーケード arcade ㊦; (歩行者専用の商店街) mall ㊦.

アース 一箇(アース線) ㊦(米) ground ㊦, (英) earth ㊦. 一動(米) ground ㊦, (英) earth ㊦. 『洗濯機の\*アースを付ける ground [earth] the washer』

アーチ 一箇 arch ㊦. 一動(アーチ形の) arched. 『\*アーチ型の入口 an arched doorway』

アーモンド almond ㊦.

アール(面積の単位) are [é] ㊦(略 a) (『ア度量衡(囲み)』)

あーん あーん 『子供が\*あーんあーんと泣き続けた The child kept crying loudly. (『擬声・擬態語(囲み)』)

あい<sup>1</sup> 愛(親子・異性間などの強い愛情) love ㊦ ★最も一般的で、以下の語の代わりに使える場合も多い。(温和で永続的な愛情) affection ㊦ ★しばしば複数形で;(愛着) attachment ㊦. (『アあいする; あいじよう(類義語)』)

『親の子に対する\*愛 a parent's love for 'his [her] children // あなたに対する彼の\*愛は本物ですよ(⇒彼は本当にあなたを愛している) He really loves you. // 彼女の\*愛(⇒心[愛情])を勝ち得るのはだれだろう Who will win her 'heart [affections]? // 彼は祖国\*愛に燃えていた He was burning with 'love of his country [patriotism].』

あい<sup>2</sup> 藍(染料) indigo ㊦. あい色 indigo ㊦, indigo blue ㊦. (『ア色(囲み)』)

あいいれない 相容れない 『彼の考えは私の考えと\*相いれない(⇒衝突する) His views clash with [run counter to] mine. // 彼の思想は時勢と\*相いれなかった(⇒調和していなかった) His ideas were out of harmony with the time. (『アあいはんする』)

あいかぎ 合鍵 duplicate key ㊦; (ホテル・アパートなどの親鍵) master key ㊦. (『アかぎ』)

あいかわらず 相変わらず(いつもと変わらず) as ... as ever; (いつものように) as usual; (以前のように) as before; (いつも) always.

『彼女は\*相変わらず美しい She is as beautiful as ever. // 私は\*相変わらず(⇒いつものように)忙しい I'm as busy as usual. // 彼は\*相変わらず(⇒以前と同じく)貧乏だ He remains as poor as before. // 『どうだい、景気は』『\*相変わらずさ(⇒まあまあさ)』『How's your business doing?』『Only so-so.』

あいがん 哀願 一動 implore ㊦, entreat ㊦ 【語法】いずれもやや改まった語で、ask ... earnestly よりは日本語の「哀願」というニュアンスに近い。(『アたんかん(類義語); たむ』) 『彼女は彼と一緒にいてくれるように\*哀願した She 'implored [entreated] him to stay with her.』

あいぎ 合着、間着 spring [fall] clothing ㊦.

あいきよう 愛敬、愛嬌 一動(魅力のある) charming, attractive; (愛想のよい) amiable. 一箇 charm ㊦; amiability ㊦. (『アかわい』) 『彼女はなかなか\*愛敬がある She's very 'charming [attractive]. // 彼女は来た人みんなに\*愛敬をふりまいた She turned on her charm around everyone who was there.』

あいけん 愛犬 one's (pet) dog ㊦. 愛犬家 dog lover ㊦.

あいこ 一動(同等の) even; (貸し借りのない) square. 『さあ、これで\*あいこだ Now we are even.』

あいこう 愛好 一動(愛する) love ㊦; (好む) like ㊦; (好きだ) be fond of ... ★like よりも意味が強い。(『アすき<sup>1</sup>(類義語)』) 愛好家(一般に) lover ㊦; (趣味にやる) amateur [ámátó:] ㊦. (『アファン』) 『彼は熱烈な音楽\*愛好家だ He is an ardent lover of music.』

あいこうしん 愛校心 love 'for [of] one's school ㊦.

あいこく 愛国 一動(愛国心の強い) patriotic. 『彼は\*愛国の念にかられた He was filled with 'patriotic sentiment [love of his country]. 愛国者 patriot ㊦ 愛国心 patriotism ㊦.』

あいことば 合言葉(敵味方を見分ける) password ㊦; (スローガン) watchword ㊦.

あいさい 愛妻 one's (beloved) wife ㊦.

あいさつ 挨拶 1 『口頭・会釈など』 一動 greeting ㊦, salutation ㊦ ★後者は文語的。一動 greet ㊦, salute ㊦. (『アおじぎ; れい<sup>2</sup>; えしゃく』) 『我々は入口で\*あいさつを交わした We exchanged greetings at the entrance. // 『こんばんは』と彼女は加藤先生に\*あいさつした "Good evening," she 'greeted [said to] Mr. Kato.』

2 『返事』 answer ㊦, reply ㊦ ★後者はやや改まった語。(『アへんじ(類義語)』) 『いま



## あいさつ

## 1 会ったときのあいさつ

## (1) 一般的に

おはよう(午前中のあいさつ) Good morning.  
 こんにちは(《くだけた感じで》) Hello. / 《さらにく  
 だけで》 Hi. / 《午後になって》 Good after-  
 noon. ★ やや改まったあいさつ.  
 こんばんは Good evening.

日本語では下図のように、《朝》「おはよう」、  
 《昼・午後・夕方》「こんにちは」、《晩》「こんばん  
 は」とあいさつを区分する。ところが英語では1  
 日を morning (=午前中), afternoon (=午  
 後), 夕食時を境にして evening (=晩)と  
 分け、それに従って Good morning., Good  
 afternoon., Good evening. とあいさつする。

日本語:

おはよう	こんにちは	こんばんは
夜明け	10時	6時
朝	昼(間)	夕方
		晩

英語:

Good morning.	Good afternoon.	Good evening.
午前0時	正午	夕食時
morning	afternoon	evening

従って、Good morning. は「おはよう」だ  
 けでなく、ときには日本語の「こんにちは」にも当  
 たるし、Good afternoon. は日本語の「こん  
 には」の全部には当たらないことに注意。

なお、Good afternoon., Good evening.  
 はかなり改まったあいさつなので、最近あまり使  
 われなくなる傾向にある。親しい間柄、または親  
 しみを表す必要のあるときは Hello., Hi. を用  
 いることが多い。この2つは朝・昼・晩の時間  
 に関係なく、1日中いつでも使える。

## (2) 知人に

「やあ、こんにちは。いかがですか」「元気ですよ。あ  
 なたは」「Hello. How are you?」「Fine  
 (, thank you). How are you?」 **語法**

## 対話例

A: 岡野さん、おはようございます  
 B: ポール君、おはよう。元気ですか  
 A: 元気です。あなたはいかがですか

B: 快調ですよ。でも忙しくてね

A: 岡野さん、もう帰ってもよろしいですか  
 B: ええ、君の仕事はきょうはこれまでだ  
 A: ありがとうございます。では、またあしたお目  
 にかかります  
 B: 結構。じゃ、さよなら  
 A: さようなら

A: ポーラ! しばらくだね

最初に How are you? と言う人は are に強い  
 強勢を置いて言っても、you を強めてもよいが、  
 答える人は you を強く高い調子で発音する。  
 なお、Fine. の代わりに少しくだけた調子なら  
 (I'm) 'OK [all right]. でよい。

ご家族はいかがですか How's your family?  
 あなたはいかがですか How's everything with  
 you?

近ごろいかがですか How have you been  
 lately?

ずいぶん久しぶりですね It's been a long time  
 ('since I last saw you. [, hasn't it?]) / I  
 haven't seen you for a long time.

【参考】 初対面の人に対するあいさつ、および  
 天候のあいさつについては ㊦ 紹介(囲み); 天  
 候の表現(囲み)。

## 2 別れるときのあいさつ

## (1) 別れの言葉

さようなら Good-by(e). / So long. ★ くだ  
 けた言い方で、目上の人には普通用いない。/  
 Good night. ★ 夜分に別れるときに用いる。/  
 《英》Cheerio ★ くだけた調子の言葉。

またお目にかかりましょう (I'll see you 'again  
 [later]. ★ 単に (I'll) see you. ともう。こ  
 の言葉は Good-by(e). の代わりになることも  
 多い。

元気でね(⇒ 気をつけて) Take care. ★ くだ  
 けた言い方。

おいとまなくてはなりません I'm afraid I'd  
 better 'say good-bye [be going now].

## (2) 伝言を頼むとき

お父さん[お母さん]によろしく Please say hello  
 to your 'father [mother] for me. ★ くだけ  
 た言い方で日常よく用いられる。/ Please give  
 my best 'regards [wishes] to your 'father  
 [mother]. / Please remember me to your  
 'father [mother]. ★ 後の2つはやや改まった  
 言い方。

A: Good morning, Mr. Okano.

B: Good morning, Paul. How are you?

A: Just fine, thank you. How's every-  
 thing with you?

B: OK, but busy.

A: May I go home now, Mr. Okano?

B: Yes, you're finished for the day.

A: Thank you. I'll see you tomorrow,  
 then.

B: Good. Well, so long.

A: Good-bye.

A: Paula! I haven't seen you for a long  
 time.